



エコアクション21
認証番号0000091



未来の地球のため
私たちができること

環境経営レポート 2021

対象期間

2020年1月1日～2020年12月31日



学校法人 郡山開成学園



発行日/2021年7月31日

CONTENTS

I. 郡山開成学園環境方針

環境理念、環境方針	1
-----------	---

II. 郡山開成学園の概要

II-1 法人名及び組織	2
II-2 所在地	2
II-3 環境管理責任者及び事務局	2
II-4 学園規模	2
II-5 大学、短大・附属高校・附属幼稚園概要	3

III. 郡山開成学園における環境マネジメント

III-1 環境パフォーマンスとその関連要素	4
III-2 環境への取組分野	4
III-3 環境への負荷とその関連要素	4
III-4 環境マネジメントシステム	5

IV. 環境目標及び環境活動計画

IV-1 2020年～2022年中長期環境目標	6
IV-2 2020年環境活動計画	7

V. 環境活動結果

V-1 環境目標達成状況及び環境活動計画実施状況	
(1) 環境負荷の対前年詳細比較	8
(2) 環境目標の達成状況評価	9
(3) 取組結果の評価	9
(4) 代表者による評価と見直し	9
V-2 トピック	10
V-3 各部門の取組み	10～16
V-4 緊急事態対応	16
V-5 郡山女子大学・同短期大学部における地域連携活動	17～18

VI. 次年度の取り組み

VII. 環境関連法規等一覧及びその遵守状況確認結果

VIII. 環境活動結果に関する内部監査及び評価

(1) 内部監査	20
(2) 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果	21
(3) 令和2年度（2020年）受託事業などの一覧	21

I. 郡山開成学園環境方針

学校法人郡山開成学園 理事会承認
2002年 9月12日制定
2017年 7月28日最終改定

環境理念

学校法人 郡山開成学園は、教育研究をはじめとするあらゆる活動を通じ、地球環境との調和・共存と持続的に発展可能な循環型社会の構築に寄与するため、全学挙げて環境保全活動に積極的に取り組む。

環境方針

1. エコマインドを持った学生・生徒の育成並びに関連教育研究の推進



環境活動に積極的に取り組むエコマインドを持った学生・生徒の育成が急務であることから、人類の福祉及び地球環境保全に貢献できる人材を育成し、また、これらに関わる教育研究活動を行う。

環境マインドを持った学生、生徒を育てます。

環境意識向上

2020年度目標

「社会の中で率先して環境問題に取り組む人づくり」を目指す。
各部門において、環境マインドを高める為の取組を推進していく。

2. 教育研究活動における環境負荷の削減



教育研究活動にともなう環境負荷を低減する目標に向かって、全学を挙げて、省エネルギー、省資源、廃棄物の抑制と再資源化などに積極的に取り組む。

CO₂ 排出量を削減し地球温暖化にブレーキをかけます。

CO₂ 排出量
1.0% 以上削減

2020年度目標

年間 11t の CO₂ 排出量削減を達成します。

ゴミを減らすのではなくゴミを出しません。

ゴミ排出量
1.0% 以上削減

2020年度目標

年間 1.0t の一般廃棄物削減を達成します。

水や紙を大切に使う心を育てます。

水使用量
1.0% 以上削減

2020年度目標

年間プールの一杯分 (252ml) の水使用量削減を達成します。

紙使用量
1.0% 以上削減

年間コピー用紙 114kg 相当の紙使用量削減を達成します。

3. 法規制の遵守



環境関連の法規制を遵守するとともに、環境汚染の予防を図り、自然環境の保全、再生に協力する。

4. 環境関連情報の公開とコミュニケーションの推進

環境理念、環境方針、環境目標、環境活動計画及びその実績等の環境関連文書やホームページ等を通じて、学内の学生、生徒、教職員や一般社会へ積極的に公開する。

5. 地域貢献



環境分野に関するボランティア活動(本学主催のどんぐりプロジェクト及び、郡山市主催のごみゼロキャンペーンへの参加、空間放射線量や食品中に含まれる放射性物質の測定、包括連携協定を締結した市町村等との連携活動、並びに学園施設の一般開放等)を通じ、地域に貢献する。

地域貢献

地域から
愛される学園へ

2020年度目標

環境分野に関するボランティアや包括連携協定を締結した市町村等との連携活動を通じ、地域へ貢献する

Ⅱ. 郡山開成学園の概要

Ⅱ－１ 法人名及び組織

法人名：学校法人 郡山開成学園

代表者：理事長 関口 修

■ 組織

郡山女子大学 : 学長 関口 修
郡山女子大学短期大学部 : 学長 関口 修
郡山女子大学附属高等学校 : 校長 関口 修
郡山女子大学附属幼稚園 : 園長 賀門 康博

Ⅱ－２ 所在地

〒963-8503 福島県郡山市開成3丁目25番2号

Ⅱ－３ 環境管理責任者及び事務局

環境管理責任者 / 郡山開成学園 法人事務局 管財部
部長 緑川 洋一 (環境委員会委員長)
TEL : 024-933-1955
FAX : 024-933-1955
kanzai@koriyama-kgc.ac.jp

環境委員会事務局 / 郡山開成学園 法人事務局 管財部
係長 安斎 文明
TEL : 024-933-1955
FAX : 024-933-1955
kanzai@koriyama-kgc.ac.jp

Ⅱ－４ 学園規模

学 生 数 (大 学 ・ 短 大)	921 人
生 徒 数 (附 属 高 校)	477 人
園 児 数 (附 属 幼 稚 園)	155 人
教 職 員 数	183 人
敷 地 面 積	190,569㎡ (57,647 坪)
延 べ 床 面 積	50,816㎡ (15,371 坪)

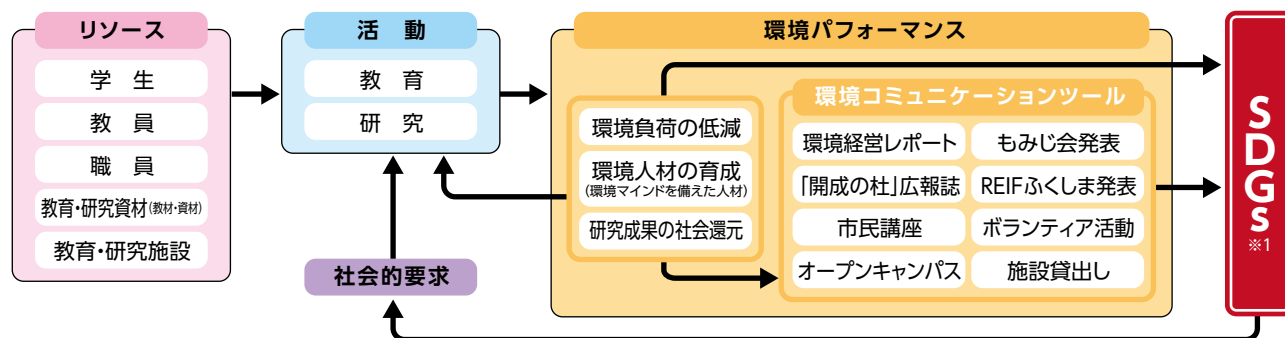
(令和3年5月1日現在)

Ⅱ－５ 大学、短大・附属高校・附属幼稚園概要

区分	学科・専攻等		取得できる免許・資格
大学 学院	人間生活学研究科 新しい時代には、新しい学問が要求されます。 「人間守護」の理念を中心に、人間生活について総合的かつ専門的に学びます。		●中学校及び高等学校専修免許状（家庭）
大学 家政学部	生活科学学科 ■社会福祉専攻 社会福祉と介護について専門的かつ融合的に学ぶことにより、地域における福祉分野の課題解決に取り組み、地域の活性化に寄与する福祉の専門的人材を育成します。		●社会福祉士（受験資格） ●介護福祉士（受験資格） ●高等学校教諭一種免許状（家庭） ●中学校教諭一種免許状（家庭） ●特別支援学校教諭一種免許状
	■建築デザイン専攻 少人数制を活かして体験や体感を重視した実践的な教育と一人ひとりの個性に合わせた教育を展開し、地域社会で活躍する女性建築士を育成します。		●一級及び二級建築士（受験資格） ●福祉住環境コーディネーター ●商業設備士 ●高等学校教諭一種免許状（工業・家庭） ●中学校教諭一種免許状（家庭） ●特別支援学校教諭一種免許状
	食物栄養学科 食品の安全性と健康維持をはかる管理栄養士を養成。 社会や食生活の多様化・国際化に対応できる総合的な指導者を目指します。		●管理栄養士（国家試験受験資格） ●栄養士免許 ●栄養教諭一種免許状 ●食品衛生管理者と食品衛生監視員（任用資格）
	健康栄養学科 健康で豊かな食生活をすすめる「栄養士」と、食品業界にかかわる「フードスペシャリスト」を養成。人々の健康をサポートする食と栄養の知識と技術を身につけます。		●栄養士免許 ●管理栄養士国家試験受験資格（実務経験３年） ●フードスペシャリスト受験資格 ●専門フードスペシャリスト受験資格
短期大学部	幼児教育学科 ■幼児教育コース 幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の両方を取得することができます。多彩なフィールドワークを通して実践力を養い、子どもに寄り添える保育者を目指します。		●幼稚園教諭二種免許状 ●保育士資格
	■チャイルド・ミュージックコース 音楽に関する専門的な知識や技術を学び、より豊かな音楽表現力を養い音楽の美しさや楽しさを伝えることができる保育者を目指します。		●幼稚園教諭二種免許状 または ●保育士資格
	地域創成学科 地域連携教育を中心とした多様な学びにより創造力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばし、地域の発展に取り組む力を身につけます。		●文化・歴史系：司書、学芸員補（任用資格） ●アート＆デザイン系：色彩士検定、Illustrator、Photoshop、Webクリエイター ●ビジネス・情報系：情報処理士、ITパスポート、MOS検定、日商PC、ICTプロフィエーション検定、社会福祉主事（任用資格）
	専攻科 文化学専攻 人間の生きた証しである歴史の知識を体系化、深化させるとともに豊かな人間性を培い、総合的な判断力を養います。		●学士（文学）（大学改革支援・学位授与機構） ●学芸員（任用資格）
附属高等学校	普通科 個々の特性に合わせて、全教科にわたって幅広く学習します。１年次は、共通カリキュラムで学習し、基礎学力の充実を図ります。２年次からは、自分の進路や適性に合わせて、Ⅰ型（文系）、Ⅱ型（理系）に分かれて学習します。		
	音楽科 一般教科目を精選し、専門課程を強化しながら、各専攻（ピアノ、弦楽器、管楽器、声楽）に分けて、音楽の才能教育を行う県内唯一の学科です。		
	美術科 絵画、工芸、デザイン等の専門知識を深め、美に対する感覚と技術の向上を目指す県内唯一の学科です。		
	食物科 栄養、食品、食品衛生等の専門知識や高度な調理技術、技能を身につけ、食文化の継承者として地域社会に貢献する調理師を育てます。		●調理師免許
附属幼稚園	年長組 (5歳児)	やなぎ組	●お子さんをよりのばすために、一人ひとりを尊重して、それぞれの発達、個性に合わせて保育します。 ●よい成長のために大学の専門の先生と連携を取りながら保育を進め、また各教室（おと・うごき・ことば教室、英語教室、体育教室）や子育て相談（発達相談）を行います。 ●幼稚園と家庭が一体となってお子さんの成長を助けるため「父母の講座」などを行います。
		まつ組	
	年中組 (4歳児)	さくら組	
		つつじ組	
	年少組 (3歳児)	たんぽぽ組	
		すみれ組	
	2～満3歳児	つくし組	

Ⅲ. 郡山開成学園における環境マネジメント

Ⅲ-1 環境パフォーマンスとその関連要素



※1 SDGs「持続可能な開発のための2030アジェンダ」



Ⅲ-2 環境への取組分野

大項目	中項目
1. 事業活動へのインプットに関する項目	1) 省エネルギー 2) 省資源 3) 水の効率的利用及び日常的な節水 4) 化学物質使用量の抑制及び管理
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止 2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理 3) 排水処理 4) その他生活環境に係る保全の取組等
3. 製品及びサービスに関する項目	1) グリーン購入 2) サービスにおける環境配慮
4. その他	1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組 2) 環境コミュニケーション及び地域貢献 3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体に当たっての環境配慮

Ⅲ-3 環境への負荷とその関連要素

環境への負荷		もととなる活動・設備	
二酸化炭素排出	購入電力	空調、照明、OA機器、教育研究機器	
	化石燃料	灯油	暖房（体育館）
		A重油	ピークカット発電
		都市ガス	空調、厨房
		LPガス	空調、風呂
		ガソリン	学園車両等
		軽油	園児送迎車両等
廃棄物排出	一般廃棄物	白上質紙	教育、研究
		新聞紙	図書館等
		段ボール	納入品包装
		その他の紙	シュレッダー、雑誌
		缶	自動販売機
		ペットボトル	自動販売機
		生ゴミ	学生食堂、調理実習、寮給食
	産業廃棄物	汚泥	グリストラップ
		金属くず	廃自転車
		廃食用油	調理実習
	特別産廃	廃油	実験実習
		廃酸、廃アルカリ	実験実習
水使用		トイレ、手洗い、飲料	
化学物質		実験、実習	
物質使用（コピー用紙）		教育研究	

Ⅲ-4 環境マネジメントシステム

■ エコアクション 21 認証・登録



■ エコアクション 21 とは

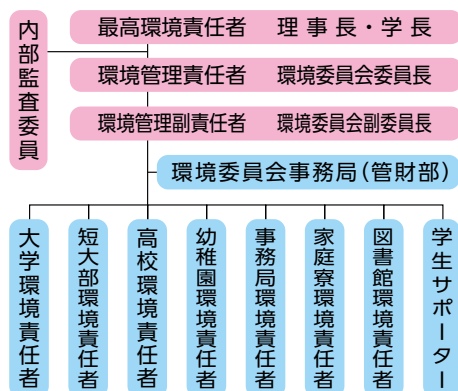
エコアクション 21 認証・登録制度は、広範な中小企業、学校、公共機関などに対して、「環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告する」ための方法として、環境省が策定したエコアクション 21 ガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度である。

本学園は 2004 年 12 月 24 日教育機関では全国初となるエコアクション 21 認証・登録を受け 2020 年 12 月 8 日に 9 回目の更新審査を完了した。



全組織・全活動

■ 実施体制



■ 認証・登録証



■ 役割

最高環境責任者 (理事長・学長)	- 環境方針を定め、教職員に周知する。 - 環境方針を毎年1月に見直し、必要があれば改訂する。 - EA21を効率的に実施するために環境委員会、環境委員長、副委員長、及び環境委員の任命を行い実施体制を構築し、役割と責任を定め、全教職員に周知する。 - 毎年3月に実施体制を見直し、必要に応じて変更を行う。 - 代表者は毎年1月に前年度のEA21の取組状況进行评估し、全体的な見直しを行い、修正が必要な場合には環境委員会委員長に指示を行う。(年1回)
内部監査委員	- 毎年11月に環境経営システムがEA21ガイドライン要求事項に合致しているか検証する。 - その環境経営システムに有効性があるか、また、環境経営システムに定められている活動内容が環境方針、環境目標の達成に適切なものとなっているか検証する。 - 内部監査チェックリストにより行う。
環境委員会 (委員長、副委員長、委員)	- 環境方針、環境への負荷及び環境への取組状況のチェック結果を基に環境目標を策定し、達成のための活動を行う。 - 毎年1月に前年度の達成状況を把握・評価し、必要により見直しを行う。 - 毎年1月に環境目標を達成させるための単年度ごとの環境活動計画を作成し、実行する。 3ヵ月ごとに実施状況と実績を把握し、評価する。 - 実施状況に問題がある場合は是正処置を行い、次年度の計画策定に反映させる。
環境委員会事務局 (管財部)	- 毎年1月に前年度の事業活動に伴う環境負荷を調査し、「環境への負荷の自己チェック表」を完成させ、見直しをする。 - 毎年1月にチェック表による法令等の遵守状況を確認する。 - EA21を適切に実行するためにEA21の意識と概要の教育及び、必要場合は訓練を実施する。 - 毎年環境活動レポートを作成し、理事長、学長の確認を得て公表する。 - EA21の実施に必要な文章を作成し、保管する。 - EA21の取組に係る記録等を作成する。 - 作成された記録を集め、整理し、保管する。
学生サポーター (ナチュラライフスタイル部:以下NLS部) (郡山女子大学エコレンジャー)	- NLS部員は環境委員会サポーターとして環境活動に協力する。 - 郡山女子大学エコレンジャーはeco検定受験対策講座のサポーターとして環境委員会に協力する。

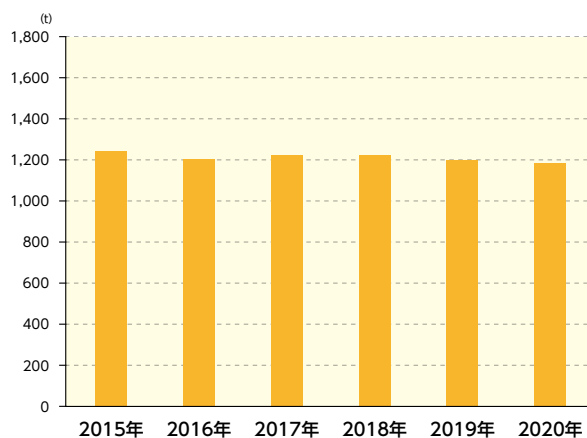
Ⅳ. 環境目標及び環境活動計画

Ⅳ－１ 2020 年～ 2022 年中長期環境目標

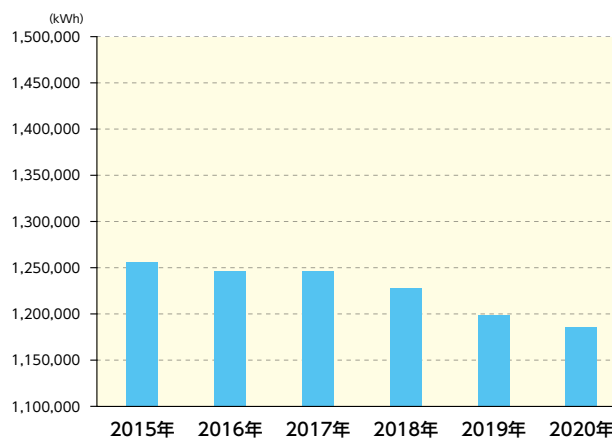
本学園は、以下7つの主項目に対し、目標値を掲げて環境活動に取り組んでいる。

項 目		単位又は区分	基準年実績	2020 年目標値	2021 年目標値	2022 年目標値	
			2019 年 1 月～ 12 月	2020 年 1 月～ 12 月	2021 年 1 月～ 12 月	2022 年 1 月～ 12 月	
エコマインドを持った 学生、生徒の育成		eco 検定 受験講座	新型コロナウイルス感染症対策のため当面閉講とする				
		環境関連図書購 入数	環境関連図書購 入数 25 冊	25 冊	25 冊	25 冊	
		学生、生徒の環 境関連サークル 活動支援	NLS 部 部員数 25 名	35 名	21 名	コロナ終息まで サークル活動自粛	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量		kWh	1,186,981	1,175,111 (-1.0%)	1,163,359 (-2.0%)	1,151,725 (-3.0%)
	化石燃料使用量	都市ガス	m ³	49,027	48,536 (-1.0%)	48,050 (-2.0%)	47,569 (-3.0%)
		LP ガス	m ³	89,749	88,851 (-1.0%)	87,962 (-2.0%)	87,082 (-3.0%)
	CO ₂ 排出量		Kg-CO ₂	1,217,934	1,205,754 (-1.0%)	1,193,696 (-2.0%)	1,181,759 (-3.0%)
水使用量		m ³	25,116	24,864 (-1.0%)	24,615 (-2.0%)	24,368 (-3.0%)	
紙使用量		kg	11,394	11,280 (-1.0%)	11,167 (-2.0%)	11,055 (-3.0%)	
一般廃棄物排出量 (可燃ごみ)		kg	107,340	106,266 (-1.0%)	105,203 (-2.0%)	104,150 (-3.0%)	
化学物質の適正管理		—	化学物質の 適正管理	年 1 回の保管状況 調査により適正管理	年 1 回の保管状況 調査により適正管理	年 1 回の保管状況 調査により適正管理	
グリーン調達の推進		取扱消耗品 (280 品目) のグリーン 適合品	270 品目 (96.4%)	271 品目 (96.8%)	272 品目 (97.1%)	273 品目 (97.5%)	

(電気事業者名：(株)エネット、調整後排出係数 0.408kg-co₂/kWh)



二酸化炭素排出合計



電力消費

Ⅳ－２ 2020 年環境活動計画

方針	目 標	目標達成手段	責任部門 実施部門	スケジュール											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
エコマイ 学生、 生徒の 育成	各部門において、環境マインドを高 めるための取組を推進していく	各環境委員による積極的 なリーダーシップのもと 実施	環境委員長 ----- 各環境委員				開始					開始			
排出 二酸化 炭素 削減	電力の削減 電力量 11,870kWh 2019年度基準年比 削減率－1.0% 都市ガス、LP ガスの削減 都市ガス 491m ³ LP ガス 898m ³ 2019年度基準年比 削減率－1.0%	・節電対策 ・BEMS による見える化 (本部キャンパス) ・不要照明の消灯 ・待機電力の削減 ・クールビズ運動 (冷房 27℃) ・ウォームビズ運動 (暖房 21℃)	環境委員会 事務局 ----- 管財部	説明 導入	運用										
排出 廃棄物 削減	一般廃棄物の削減 一般廃棄物量 1,044kg 2019年度基準年比 削減率－1.0%	・一般廃棄物削減目標説明 ・学内 LAN の有効利用 (文書の電子化 E-mail) ・裏白使用、両面コピー、 印刷の徹底 ・分別の徹底による再資 源化量増加	環境委員会 事務局 ----- 管財部	説明 実施 実施 実施											
節 水	水の削減 水使用量 252m ³ 2019年度基準年比 削減率－1.0%	・水削減目標説明 ・節水トイレの増設 ・無駄水削減の徹底 ・漏水の早期発見	環境委員会 事務局 ----- 管財部	説明 実施 実施 実施											
紙 削減 使用量	紙の削減 紙使用量 114kg 2019年度基準年比 削減率－1.0%	・学内 LAN の有効利用 (文書の電子化 E-mail) ・裏白使用、両面コピー、 印刷の徹底	環境委員会 事務局 ----- 管財部	説明 実施 実施											
グ リ ン 購 入	消耗品 271 品目をグリーン購入法 適合品に変更する	・消耗品のグリーン購入 ・家電機器、OA 機器等 はエネルギー効率の高 い機器を購入	管財部					○							
化 学 理 薬 品	PRTR 対象物質並びに毒物、劇物の 保管、管理を適正に行う	・年 1 回 PRTR 法 対象物並びに毒、劇物 の保管、管理状況調査 を行う	環境委員会 管財部							○					
年 間 活 動	○ 環境教育 ○ 緊急事態対応訓練 ○ 環境関連法規等の遵守評価 ○ 代表者による評価と見直し ○ 環境経営レポート	環境目標、活動計画の周知 安全防災訓練 法令遵守 第三者評価 作成と地域事務局への提出	環境委員会 事務局 ----- 防災管理 委員会	○											○

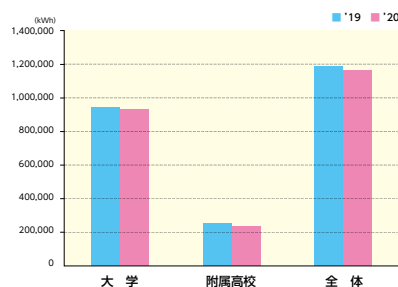
- ・環境管理責任者は 3 ヶ月ごとに確認し、取り組みに問題がある場合には指示を行う。
- ・代表者は、環境管理責任者の報告を受け必要に応じて指示を行う。

V. 環境活動結果

V-1 環境目標達成状況及び環境活動計画実施状況

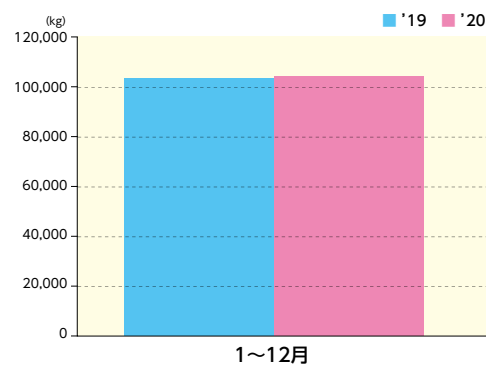
(1) 環境負荷の対前年詳細比較

■電気使用量



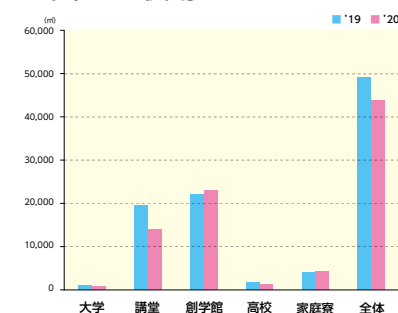
評価 電気使用量は対前年度省エネ対策(創学部2F、4F、蛍光灯→LED化他)により35,955kWh(-3.02%)減少。

■一般廃棄物排出量



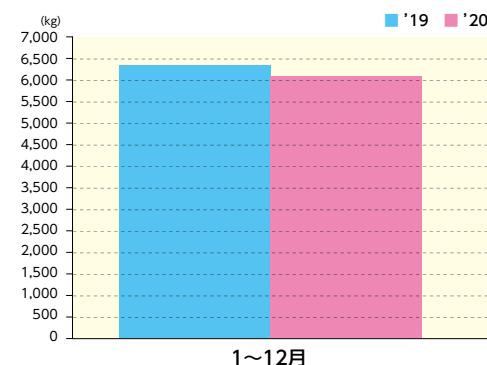
評価 リサイクル意識の低下により昨年度に引き続き、一般廃棄物量の対前年度比230kg(+0.21%)の増加。

■都市ガス使用量



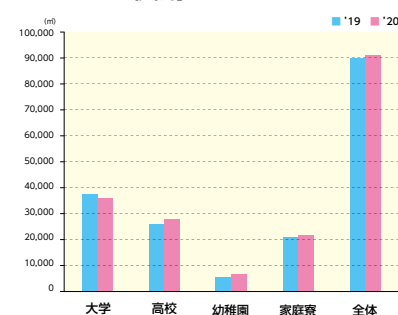
評価 都市ガス使用量は、フェリーチェ(学生食堂)の営業日の増加並びに寮使用量の増加に伴い一部増加したが、全体的には減少により、対前年比4,903m³(-10.00%)の減少。

■生ごみ処理量



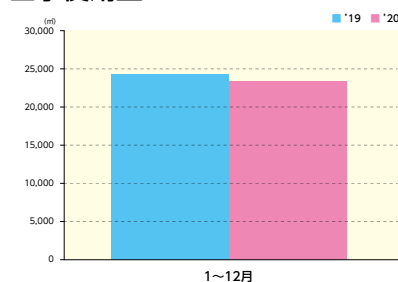
評価 学生食堂フェリーチェ及び寮食べ残しの減少により、生ごみ処理量が対前年度比-222kg(-3.52%)の減少。

■LP ガス使用量



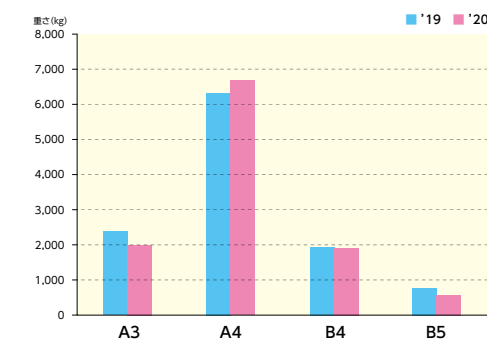
評価 冬季の暖房使用において高校、幼稚園及び寮の使用量が増えたため、LPガス使用量は対前年比+2,206m³(+2.46%)の増加。

■水使用量



評価 漏水の早期発見対応により、水使用量は昨年度に引き続き対前年度比-934m³(-3.83%)の減少。

■紙使用量



評価 文書の電子化等、紙使用の減少により、昨年度に引き続き、対前年比202kg(-1.77%)の減少となった。

(2) 環境目標の達成状況評価

2020 年における環境目標の達成状況は、下表のとおり。エコマインドを持った学生、生徒の育成については、各部署の環境委員による積極的なリーダーシップのもと各部門において環境マインドを高めるための取り組みを推進した。環境負荷の削減に係る環境目標については、CO₂ 排出量・水使用量・紙使用量は環境目標を達成したが、一般廃棄物排出量は対前年比の微増であった。又、化学物質の適正管理、グリーン調達推進の推進は環境目標を達成した。

表：環境目標及びその達成状況（期間 2020 年 1 月～12 月）

項 目		単位又は区分	基準年実績	2020 年目標	2020 年実績	達成状況
			2019 年 1 月～12 月	2020 年 1 月～12 月	2020 年 1 月～12 月	達 成 未達成 中 止 〇 × —
エコマインドを持った 学生、生徒の育成		eco 検定受験講座	新型コロナウイルス感染症対策のため終息まで閉講とする			—
		環境関連図書購入数	環境関連図書数 25 冊	25 冊	25 冊	○
		学生、生徒の環境関連 サークル活動支援	NLS 部員数 35 名	35 名	21 名	×
排 出 量 削減	電力使用量	kWh	1,186,981	1,175,111 (－1.0%)	1,151,026 (－3.0%)	○
	都市ガス	m ³	49,027	48,536 (－1.0%)	44,124 (－10.0%)	○
	LP ガス	m ³	89,749	88,851 (－1.0%)	91,955 (+2.4%)	×
	CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	1,217,934	1,205,754 (－1.0%)	1,178,969 (－3.2%)	○
水使用量		m ³	25,116	24,864 (－1.0%)	23,458 (－3.81%)	○
紙使用量		kg	11,394	11,280 (－1.0%)	11,192 (－1.7%)	○
一般廃棄物排出量 (可燃ごみ)		kg	107,340	106,266 (－1.0%)	107,570 (+0.2%)	×
化学物質の適正管理		—	化学物質の 適正管理	年 1 回の化学物質の保管 状況を適正に調査し、 厳格に管理を行った	年 1 回の化学物質の保管 状況を適正に調査し、 厳格に管理を行った	○
グリーン調達の推進		取扱消耗品 (280 品目) のグリーン適合品	270 品目 (96.4%)	271 品目 (96.8%)	271 品目 (96.8%)	○

(3) 取組結果の評価

1. エコマインドを持った学生、生徒の育成

① eco 検定受験講座

新型コロナウイルス感染症対策の一環から eco 検定受験講座はコロナ終息まで閉講とした。

② 環境関連図書購入数は、25 冊で対前年度比同数となり環境目標を達成した。これは図書館において環境関連図書購入を優先的にこなっているためである。

③ 学生、生徒の環境サークル活動支援

NLS 部員数を 35 名に増員する目標に対して、部員数は 21 名で、環境目標を達成できなかった。これは新型コロナウイルス感染症のため部活動・サークル活動が中止となり、部員募集が円滑に行えなかったためである。

2. 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量に係る環境目標を、基準年実績 1,217,934kg-CO₂ の 1.0%減の 1,205,754kg-CO₂ 以下とした。実績は、1,178,969kg-CO₂ で対前年比－3.2%の減少となり環境目標を達成できた。これは、主要校舎の各講義室の蛍光灯照明を LED 照明に更新する LED 化五カ年計画の成果である。

3. 水使用量の削減

水使用量に係る環境目標を、基準年実績 25,116m³ の 1.0%減の 24,864m³以下とした。実績は、23,458m³で対前年比－3.81%の減少となり環境目標を達成できた。これは節水型トイレの増加並びに学内の老朽化した給水管からの漏水の早期発見について取り組んだ成果である。

4. 紙使用量の削減

紙使用量に係る環境目標を、基準年実績 11,394kg の 1.0%減の 11,280kg 以下とした。実績は、11,192kg で対前年比－1.7%の減少となり環境目標を達成できた。これは文書の電子化等の推進の成果である。

5. 一般廃棄物排出量の削減

一般廃棄物排出量に係る環境目標を、基準年実績 107,340kg の 1.0%減の 106,266kg 以下とした。実績は、107,570kg で対前年比、+0.2%の微増となり環境目標を達成できなかった。これはリサイクル運動の減退化により微増が続いているからである。

6. 化学物質の適正管理

化学物質に係る環境目標を、毒物・劇物、向精神薬、核原料物質、病原性微生物、PRTR 対象物質、危険物等化学物質の保管状況を各関係法に則り厳格に管理している。

実績は、化学物質取扱者と円滑なコミュニケーションを取りながら各関係法に則り厳格に管理する事ができ環境目標を達成できた。これは管財部及び環境委員会において関係教員の協力を得て厳格に法令遵守を行ったからである。

7. グリーン調達推進

グリーン調達に係る環境目標を、購買部取扱い消耗品類 280 品目中 270 品目 (96.4%) をグリーン購入適合品にすることとした。実績は、271 品目 (96.8%) がグリーン購入適合品となり、環境目標を達成した。これは管財部と購買部の有限会社佐藤和司商店が一致協力のもとグリーン購入を推進した事による。

(4) 代表者による評価と見直し

紺野内部監査委員長より、エコアクション 21 認証登録後 17 年を経過し、毎年各環境委員によりさまざまな環境保全活動を実施している点を学内にもっと周知する様指示。

V-2 トピック

■ 創学館 2 階 事務室、4 階 研究室・ゼミ室 蛍光灯照明を LED 化 (5 ヶ年計画の 3 年目)



照明の点灯時間が長い事務室や研究室の LED 化を図り、電気使用量の削減を図った。次年度は、62 年館を実施予定。



■ 芸術館 貯水槽タンクのタンクステンコート (7 ヶ年計画の 4 年目)

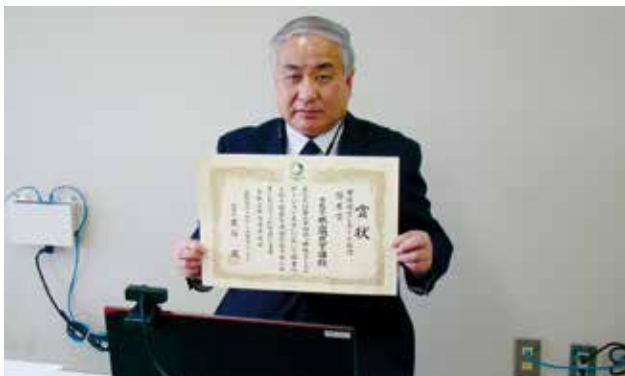


FRP (繊維強化プラスチック) 製の貯水槽タンクをタンクステンコート (塗装) することにより、貯水槽タンクの長寿命化を図った。次年度は 62 年館の高架水槽を実施予定。



■ 外部評価 (表彰等)

- 第 24 回 環境コミュニケーション 環境経営レポート部門「優秀賞」Zoom によるオンライン表彰式出席



- 令和 2 年度 温暖化防止にみんなで取り組む福島議定書 従来編「緩和分野賞」



V-3 各部門の取組み

■ 郡山女子大学



1. はじめに

生活科学科建築デザイン専攻では、講義の中でエネルギーの重要性やその効率性、および快適に暮らせるまちづくりについて様々な視点から学修し、その改善について取り組んでいる。今回は、「建築環境工学Ⅱ」の科目で実施した照度測定について紹介したい。照度とは、物体の表面を照らす光の明るさを表す物理量のこと、人間が感じる明るさを示す指標のことである。普段利用する大学内の各種教室の照度を測定し、照度基準に適合しているかを検討して利用しやすい教室環境が確保されているのかを把握した。また、照度基準を著しく超える場合は、不必要なエネルギーを放出しているため、エネルギーの無駄がないかについても検討し、不適格な測定値の結果の場合は、必要な改善策について検討した。

大学の講義室は、省エネ照明器具の導入を進めており、以前より明るさの確保が十分に満たされるよう更新工事が実施されている。照度基準は、教室内の作業により基準が異なり、精密作業は一般的な教室よりも高い照度基準が求められている。その点を踏まえ、本実験では普段授業を受講する講義教室と精密作業を要する製図室、廊下や便所など、多様な部屋で照度測定を行い、自分たちが利用する教室環境について調査し、問題点や改善方法 (照明設計) を学修する機会として実施した。

2. 測定方法

作業机から照明までの距離をレーザー距離計測器で測定し、照度計アプリを用いて簡易測定を実施。
測定環境の比較のため、ブラインドの開閉、照明器具の点灯、天気が異なる別日での測定を実施。

3. 結果

創学館 4 階ゼミ室や 3 階講義室など「教室」に分類される部屋では、照度が十分に満たされ、的確な照明配置と器具の更新が実施されたことが判った。しかし No.1 製図室では、基準以下の照度の測定値となり、精密作業には不適格な環境という結果であった。ただし、測定した位置により照明器具のみの明るさで基準を満たす場合もあることから、座席配置の工夫などで改善が可能であると判断した。以下、学生の測定値の一例を次ページに示す。

(1) No. 1 製図室の場合

環境：12/2 11:00 晴れ 窓際の座席 照明全灯
基準：学校製図作業 500～1000lx 推奨 750lx
結果：①日よけなし 742lx 適合
②日よけあり（ブラインド全閉） 450lx 不適合



(2) 534 講義室の場合

環境：12/7 11:35 くもり 窓際の座席 照明全灯
基準：学校教室 200～500lx 推奨 300lx
結果：①日よけなし 304lx 適合
②日よけあり（カーテン全閉） 279 適合
考察：日よけの開閉で若干の差があるが、基本的に照明器具のみの明るさで照度基準を満たしている。



■ 郡山女子大学短期大学部

● 健康栄養学科 環境関連事項（2020年実施）について

健康栄養学科では、授業の中で無駄な資源を出さないよう実践的に学んでおり、学生自身が環境について身近に考えている。

① 屋上菜園



毎年、農業体験の一環として6月頃～10月下旬頃にかけて屋上菜園を使用し、野菜等を育てている。収穫した野菜は調理実習に使用されたり、学生食堂フェリーチェでサラダや野菜料理として提供されたりしている。学生達は、活動の中で食べ物の循環を学んでいる。



学生達自身で畑を耕し、種蒔きをする様子



屋上菜園で採れた野菜

② 廃棄量の記録



調理実習等の授業で廃棄量を記録し、食材を無駄無く使用し食品ロス削減に努めている。



③ 食用油リサイクル缶の使用



調理実習等で使用し、余った食用油についてはリサイクル缶に集め業者をお願いし回収している。



● 幼児教育学科 環境関連事項（2020年実施）について

幼児教育学科は、同好会やボランティア活動を通して環境活動を積極的に行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動が縮小されてしまったが、出来る範囲内で環境活動を行った。

① ガーデニング同好会



平成30年度より幼児教育学科の2年生が中心となりガーデニング同好会が結成された。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動日数が減少しメンバー全員が集合して活動することがなかなか出来なかったが、土が乾いていたら草花に水をあげる・雑草を抜く等、気付いた時に自ら活動し意識的にガーデニングの美化に努めることが出来た。



② ゴミゼロキャンペーンへの参加

令和2年度はコロナウイルス感染症の影響で行われなかったが、例年郡山市主催のゴミゼロキャンペーンに参加している。令和元年度は、幼児教育学科の1・2年生68名が参加し、歌や体操、劇を通して子どもたちに楽しく3Rの大切さを伝え、会場を盛り上げた。



● 地域創成学科 環境関連事項（2020年実施）について

地域創成学科は、伝統文化の保存・普及や福島県をPRするプロジェクトに学生自身が積極的に携わり、地域に根差した活動を大切にしている。

① 伝統手漉和紙の保存・普及

毎年、9月中旬に行われる秋蛭に向けて地域創成学科の学生も実際に郡山市中田町に足を運び、海老根伝統手すき和紙の保存・普及に携わっている。



和紙の原料となる楮を植えている場面



楮を基に地域創成学科の学生が実際に和紙を作成している場面

② つなぐデザインプロジェクト

つなぐデザインプロジェクトとは、学生が福島の「環境再生」をテーマとしたシンボルデザインを作成し、それを各種グッズに展開し環境省にかかわるイベント等で配付することで、福島の実現再生の現状やこれからの方向性を伝えて風評被害の払拭を目指すものである。令和2年度、このプロジェクトに地域創成学科の学生が参加し、桃や福島県の形のデザインを考案し、福島県をいかにPR出来るかを考え尽力した。



■ 郡山女子大学附属幼稚園

○ 幼稚園の身近な自然とのふれあいを通して～自然は子どもたちの大切な遊び道具～



草花を使ったお料理作り



木登り



葉っぱのシャワー



○ 野菜栽培（トマト・ピーマン・ナス・サツマイモ）



今年はお天気が悪く
残念ながら不作でした

○身の回りの「もの」とのふれあいを通して



様々なものを大切に使い
資源の大切さを学びます

○空き箱・段ボールなど



○廃材



■ 郡山女子大学附属高等学校

● 環境活動については、整備委員会が中心となって自発的にできるエコ活動について話し合い、全校生徒に呼びかけ取り組んできた。

①花壇の整備、草むしり、落ち葉拾いなどを実施し、校舎内・外の環境整備を行った。



②節水・節電…ポスターによる啓発やLED 照明の導入



③リサイクル活動…紙、空き缶、ペットボトルのリサイクル、エコキャップ活動



④食育活動…農業体験、減らしいレシピコンクールへの参加



■ 家庭寮

● 家庭寮の取り組み2020

下記項目について寮生・職員共に協力し取り組んでいる。



■ 寮生数

寮生内訳	1号館	2号館	合 計
大学生	14	11	25
短大生	16	12	28
高校生	—	32	32
計	30	55	85

節電・節水の呼びかけ

- ・ 掲示等による
- 必要時以外こまめに消す
- 水道を出したままにしない（1号館）



「エコキャップ収集運動」への参加

今年度で
11年目となる



ゴミの分別

- ・ 分別の呼びかけ
- 掲示等による
- ※ 分別出来ない
ゴミは提示し注意



古紙回収

回収ボックスを
設置し分類・回収



環境対策

- ・ 寮内美化（毎日の清掃・大掃除の実施）
- ・ 屋内消毒、排水溝の清掃（業者実施）
- ・ 玄関前プランター植栽



安全管理

- ・ 初期消火訓練実施
- ・ 空間線量測定、食品検査の実施
- ・ 災害時対応備蓄（食品・飲料水）



コロナウイルス感染症対策

- ・ 食事時の食堂内入室制限
- ・ 入浴時の入浴者数の制限
- ・ 消毒液の配布・設置
- ・ 健康観察（体温測定）の実施



エコアンケートの実施

集計結果	1 位	2 位	3 位
「エコ」と聞いて思いつくイメージは？	リサイクル 	節 電 	エコバッグ 
実際に行っているエコは？	エコバッグ 	ゴミの分別 	節 電 
寮でもっと取り組みたいエコは？	ゴミの分別 	節 電 	エコキャップ 

■ 令和2年度 郡山女子大学 NLS（ナチュラルライフスタイル）部の環境保全活動等

● 生物多様性への貢献

福島県森林自己学習支援事業（福島県森林環境税活用事業）
昨年度に引き続き、2年目を実施した。

○活動テーマ

「こおりやま開成の杜復活プロジェクト」

○活動内容

- ①環境調査（放射線、動植物、昆虫、きのこ等）を実施し、生態系を明らかにする。
- ②林業体験（檜の除伐、裾枝払い）
- ③視察（郡山市熱海町おっぱなし山学校）
- ④体験プログラムの検討



環境調査では、野生のニホンザル、カモシカ、ツキノワグマ等が定点カメラで撮影できた。又、昨年度鳥の巣箱を十数カ所に設置したが、出入口が狭かったようで、利用した形跡がなかった。秋に穴を広げて再設置した。

林業体験では、15年前に植樹した檜（学校林）の除伐、裾枝払いを行った。熱海グリーン産業の協力のもと、貴重な体験ができた。

視察では、郡山市磐梯熱海温泉 ホテル華の湯で実施している「おっぱなし山学校」の現地視察を行った。流しそうめんや魚掴み等の遊びができる場所で、親が会津等の観光している間、子供を預かり、一日山で遊ばせることができる場所とのこと。熱海町竹ノ内地区の佐藤氏に案内していただいた。視察を元に体験プログラムを検討した際、トイレと水は必須であることが判明した。

● ドングリプロジェクト（プロジェクトD）



東日本大震災以降、津波で流失した森林面積を取り戻すため、日本環境協会が主体となり実施してきた活動で、令和2年度より、郡山女子大学が引継ぎ、福島ふれあいの森で活動を実施した。

NPO 法人小野自然倶楽部の協力のもと、学生、生徒、教職員が参加し、どんぐりの木の裾枝払いを実施。

昼食後、東堂山満福寺境内の五百羅漢のエコツーリズムを行った。



■ 石筵 開成の杜の除伐、裾枝払い作業について



調査日：2020.7.18

開成の杜	植樹年月日	樹種	本数	年数
鞍手山	平成 8 年 5 月	ヒノキ	5,100 本	25 年
高土山	平成 13 年 6 月	スギ	4,300 本	20 年
石 筵	平成 15 年 5 月	ヒノキ	7,000 本	18 年
安子ヶ島	平成 20 年 5 月	ヒノキ	5,000 本	13 年

福島県森林自己学習支援事業（福島県森林環境税 活用事業）の一環として、石筵開成の杜の除伐、裾枝払いを環境委員会及びナチュラルライフスタイル部のメンバーが実施した。



次年度は、石筵開成の杜の間伐作業を予定

■ REIF2020（福島再生可能エネルギー産業フェア 2020）出展

2020 年 10 月 28 日、29 日の両日、本学の太陽光発電状況やナチュラルライフスタイル部の活動をビッグパレットふくしまで展示発表した。



V-4 緊急事態対応

■ 身の安全確保訓練（福島県沖で大地震が発生し震度 5 強の大地震が 15 秒後に到着する）

緊急地震速報の校内アナウンスに従い、机等の下に隠れ、身の安全確保訓練を実施した。
避難訓練は、新型コロナウイルス対策により、避難場所での密を避けるため実施を見送った。

■ 初期消火訓練

家庭寮 職員、寮生、防災管理委員による初期消火訓練（消火栓、消火器）を実施した。



V-5 郡山女子大学・同短期大学部における地域連携活動

■ 本宮市との包括連携協定締結

平成28(2016)年11月3日に本宮市と人材育成や人材確保、幼児教育や文化、芸術、健康福祉の増進など5項目について包括連携協定を締結し、高齢者福祉、幼児教育分野を中心に継続的な活動を行っている。

■ 葛尾村との包括連携協定締結

平成28(2016)年12月6日に葛尾村と震災からの復興に関する包括連携協定を締結し、六次化商品の開発を継続的に進めるとともに、村内行事へ積極的に参加してきたが、令和2(2020)年度はコロナ禍で村内行事が中止された。

■ 福島さくら農業協同組合との包括連携協定締結

平成28(2016)年度にJA福島さくらと農業の振興や教育及び人材育成に食文化の振興、健康、福祉の振興など5項目について包括連携協定を締結し、相互に緊密に連携し、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進している。令和2(2020)年度は昨年度に引き続きカントリーエレベーターの壁画作成等の協力が行われている。

■ 小野町との包括連携協定締結

平成29(2017)年8月21日に小野町と子育て、人材育成、健康栄養及び福祉の増進など6項目について包括連携協定を締結し、子育ての分野にて継続して協力が行われている。

■ 古殿町との包括連携協定締結

平成30(2018)年8月27日に古殿町と地域創成、健康栄養・福祉の増進、子育て環境の向上、地域産業の振興、芸能・文化の向上、人材育成・確保の6項目について包括連携協定を締結した。令和2(2020)年度、公民館行事はコロナ禍で中止となったが、六次化商品開発は進められた。

■ 郡山市との事業連携

平成21年3月13日に本学は、郡山市こども総合支援センター「ニコニコこども館」実施事業の連携協定を締結し、学生が「ニコニコこども館まつり」、ハンドベル演奏等のボランティア活動が行われてきたが、令和2(2020)年度はコロナ禍で催事が制限されるなか、ハンドベル演奏の協力が行われた。

■ 福島民報社との事業提携

平成29(2017)年2月に福島民報社と連携協力協定を締結し、新聞等を活用したキャリア教育の支援、地域課題等に関する共同調査及び研究、人材交流及びインターンシップの実施、教育研究のための新聞記事情報の活用支援等の分野において連携協力を進めている。

■ 鏡石町との連携

令和2(2020)年2月12日に鏡石町と食と健康の分野に関する連携協定を締結した。

令和2(2020)年度からは、町内の高齢者を対象とした食事と栄養に関する調査が実施されて、食生活等の改善策が検討されている。



いきいき交流事業



本宮市民元いきいき応援プラザ(えぼか)にて



エゴマ定植作業



エゴマ刈り取り作業



カントリーエレベーター壁画制作風景



おのまちわかばたんけんたいの素敵な冒険 活動風景



住民ワークショップ



公民館クラフト教室



公民館料理教室



ニコニコこども館まつり



町民健康調査



■ 大学施設の開放

東日本大震災以降、市内の公共施設が避難所等として使用できないことを受け、地域貢献の観点から、本学施設を学園休業日に外部団体の大会・イベント・検定試験会場等として幅広く大学施設の貸し出しを行っている。令和2(2020)年度は、コロナ禍でイベント、検定試験が中止となり、貸出数、利用者数は大きく減少した。

〈過去3年間の利用者数〉

	2018年	2019年	2020年
利用者数	24,080人	20,357人	8,077人



たなばたコンサート

■ 生涯学習講座

本学では、「学ぶことは生涯の仕業」の理念のもと、地域女性を対象として科目の開放を短期大学と共同で実施している。この生涯学習講座としての科目開放は、令和元(2019)年度で35年目となる。令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から講座の開催を見送った。

■ 国際交流特別講座

本学では21世紀の国際化に対応するため、英語・中国語・日本語、それぞれのことばを楽しく学ぶことを通して、ことばと文化への理解を深め、コミュニケーション能力を高め、あわせて本学園の国際性の発展を図ることを目的として、平成14(2002)年度前期より「国際交流特別講座」を開講している。令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から講座の開催を見送った。

■ KGCサマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）

平成19(2007)年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21(2009)年度より教員免許状更新講習制度が開始された。本学では21(2009)年度より、KGCサマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）を開講している。毎年バラエティに富んだ幅広いプログラムと熱心な本学教員の講義は、免許更新を迎えた教員の多くから、単に知識の再確認に留まらず、改めて学ぶ喜びを体得したと好評を得ている。

令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から講座の開催を見送った。

■ 地域連携推進室の設置

平成28(2016)年度に、「産学官との連携強化」、「地域活性化」、「施設の一般開放」を推進する窓口として「地域連携推進室」を法人事務局 管財部内に設置して、地域への人的資源の提供や、教育成果を還元するための橋渡しを行っている。

■ 公開講座

令和2(2020)年度はコロナ禍のなかで、新型コロナウイルス感染防止の一環としてオンライン中継を併用し、食物栄養学科主催の市民フォーラムが開催された。



市民フォーラム

■ 産学連携・受託事業

令和2(2020)年度の本大学・短大が関係した産学連携・受託事業は、①三春町旧吉田家住宅の建造物調査、報告書作成 ②国見町における石造建造物・石造技術調査 ③国見町石工フェス in 石蔵における展示解説 ④氷蔵庫における農林水産物の保存に関する共同研究（㈱以輪富）⑤チャレンジふくしま県民運動における企業社員食堂のヘルシーメニューの開発 ⑥水未来基金水環境保全活動支援事業における裏磐梯湖沼地域の水環境と生物調査 ⑦音楽関係学生の地域コンサートへの出演等多岐にわたっている。



クリスマスハンドベルコンサート



石工フェス in 石蔵「石蔵ミニコンサート」

Ⅵ. 次年度の取り組み

- (1) エコマインドを持った学生生徒の育成（生物多様性への貢献）
- (2) 地域貢献（環境に関するボランティア活動への参加・学園施設の開放等）
- (3) 環境負荷の低減（主要校舎等のLED化）

Ⅶ. 環境関連法規等一覧及びその遵守状況確認結果

環境関連法規等の遵守状況の確認結果及び違反、訴訟等の有無

環境関係法規類			遵守評価 令和2年5月		評価
			監視及び測定	担当	○×
1	毒物及び劇物取締法		特定薬品関係管理状態	環境委員会	○
2	労働安全衛生法		産業医・安全・衛生管理者等	総務部	○
3	消防法		危険物管理・消防用設備	管財部	○
4	廃棄物処理法		一般廃棄物分別及び特別管理廃棄物の処理状態など、増改築工事時の産業廃棄物処理	管財部	○
5	資源有効利用促進法		パソコン・二次電池等	管財部	○
6	家電リサイクル法		廃棄時確実な引渡し	管財部	○
7	自動車リサイクル法		廃棄時確実な引渡し	管財部	○
8	建設リサイクル法		新築・増築・解体工事発生時 元請け業者との契約事項	管財部	○
9	PCB 処理特措法		郡山市届出・年1回確認	管財部	○
10	フロン排出抑制法		フロン回収手続の処理	管財部	○
11	大気汚染防止法、福島県生活環境の保全等に関する条例		講堂冷却水発生機運転時のばい煙量	管財部	○
12	水質汚濁防止法		構造等に関する基準遵守・薬品類定期点検	管財部	○
13	下水道法		定期的な保守点検・清掃	管財部	○
14	水道法		年1回貯水槽清掃・点検	管財部	○
15	グリーン購入促進法		毎年3月頃確認	管財部	○
16	環境配慮契約法		毎年3月頃確認	管財部	○
17	環境保全活動・環境教育推進法		持続可能な社会・意欲の増進	管財部	○
18	食品衛生法		営業許可証の確認	管財部	○
19	省エネ法	エネルギー合理化・自主的	エコアクション21：環境目標・環境活動計画進捗	環境委員会	○
		トップランナー方式	機器の買替時	管財部	○
20	環境基本法・循環型社会形成推進基本法・温対法・文部科学省からの通達		国の施策に協力、温室効果ガスの排出抑制	管財部	○
21	小型家電リサイクル法		使用済小型電子機器等の排出状況を確認	管財部	○
22	麻薬及び向精神薬取締法		向精神薬の登録内容、保管管理確認	管財部	○
23	核原料物質、原子炉の規制に関する法律		核燃料物質（2種類）の保管、管理確認	管財部	○
24	PRTR 法		第1種、第2種、特定化学物質の保管管理確認	管財部	○
25	放射性物質による環境汚染への対処に関する法律		事故由来放射性物質による汚染された廃棄物の保管確認	管財部	○
26	道路交通法		安全運転管理状況確認	総務部	○

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は昭和24年の設立以来ありません。

Ⅷ. 環境活動結果に関する内部監査及び評価

(1) 内部監査

1. 監査対象	学校法人 郡山開成学園における環境活動	
2. 監査実施日	令和2年11月26日(木) 14:00～15:30	
3. 監査担当者	内部監査委員／紺野 信弘、水野 時子、学生代表 長島副部長 (NLS 部)	
4. 監査目的	EA21 更新審査前 内部監査	
5. 監査項目	1. 前回の中間審査時のB判定指導事項2項目、並びに推奨事項7項目の是正措置の改善状況確認 2. 内部監査チェックリスト（環境経営システム・環境活動レポート）により確認 3. 事務局より2020年環境活動計画書の各目標の達成状況と主たる環境活動の報告 4. 大学、短大、高校、幼稚園、及び家庭寮の各環境委員より各部門における2020年の環境活動についてプレゼンテーション 5. 質疑応答、講評	
6. 監査講評	監査委員氏名	講評結果
	紺野監査委員長	学内周知をもっと積極的に行い、全教職員からの支援を益々受けられるようにしてほしい。授業の一環からの環境活動なのか、純粋なボランティアからの活動なのか分かり易く表現してほしい。地域貢献活動の今後の進め方についても記載してほしい。全学を巻き込んだ活動が益々重要となってくるので、頑張してほしい。
	水野監査委員	環境委員会活動のNLS部が福島県森林自己学習支援事業の助成金を取得して活動している事など、もっと学内で情報共有できるようにして下さい。大学、短大の環境保全活動が学科カリキュラムといかに連動しているかが分かり易くしてほしい。幼稚園の園内活動において自然と触れ合う事と同時に、外来生物等の安全の問題にも十分に注意して下さい。
	長島委員 (学生代表)	学校における多くの環境プロジェクトにおいて、継続が大事であることがよく理解できた。自然を感じて生活する事で、自然を大切にする心を大切にしていきたい。新型コロナウイルス感染症の関係からNLS部にも多くの影響が出ており、今後の活動において人員不足とならないよう今日の各部門の環境活動を参考にしていきたい。
備 考	 	

(2) 代表者による全体の取り組み状況及び見直しの結果

今年は創立 75 周年を迎える。コロナ禍の先が見通せない中だが、さらなる飛躍に向け、地域が元気になるような取り組みをしていきたい。4 月には大学 家政学部の人間生活学科を改編し、「生活科学科」として新体制がスタートした。今後も学問や大学教育の本質を大切にしつつ、時代の変化に柔軟に対応し得る大学でありたい。

本学は、「第 24 回 環境コミュニケーション大賞」環境経営レポート部門において、5 度目の優秀賞を受賞した。評価された内容は、教育機関として「エコマインドを持った学生・生徒の育成」を環境方針の第一に掲げ、園児の食育、高校生の自発的な節水・節電・リサイクル活動、大学・短大での地域貢献活動など、段階に応じた取り組みを実践している点や、地域貢献活動に力を入れた優れた取り組みが評価され、各世代に合わせた環境教育活動が写真と解説で紹介され、他の教育機関の参考となる優れたレポートであると高く評価された。

これは、各環境委員が、それぞれの部署において、リーダーシップを発揮し学生、生徒、及び教職員の環境活動をサポートし、実践した賜物である。

今後も、地球温暖化防止につながる環境負荷削減の努力は継続しつつ、更に SDGs との関連を強く意識し、環境活動の強化を図り、学園関係者の意思統一をして、持続可能な社会実現に向けた取り組みを益々発展させていくこととする。

令和 3 年 5 月 15 日

学校法人 郡山開成学園 理事長

関口 修

(3) 令和 2 年度（2020 年）受託事業など一覧

委託者（自治体など）	件 名	受託者（担当学科・教員）	金 額
チャレンジふくしま県民運動推進協議会 会長 内堀雅雄	チャレンジふくしま県民運動 委託料	郡山女子大学 (星 千歳)	330,000
古殿町	包括連携に関する協定に基づく業務委託 古殿町産農作物（ミニトマト）を使用したメニュー 考案等	郡山女子大学 (菊池 節子)	965,800
公益財団法人 福島県学術教育振興財団	令和 2 年度公益財団法人福島県学術教育振興財団助 成金「葛尾村三匹獅子舞に関わる民俗芸能誌作成の ための調査研究」	郡山女子大学短期大学部 (一柳 智子)	1,534,740
スリーピーシステムズ 代表取締役 吉田和彦	委託研究「和紅茶・日本茶商品開発による栄養成分 分析商品評価」	郡山女子大学 (郡司 尚子)	300,000
猪苗代湖・裏磐梯湖沼水 環境保全対策推進協議会 会長 大島幸一	猪苗代湖と鬼沼・裏磐梯湖沼地域の水質と生物調査	郡山女子大学ナチュラル ライフスタイル部 (影山 志保)	138,950
福島県知事 森林計画課	森林自己学習支援事業 「こおりやま開成の杜 復活プロジェクト（2 年目）」	郡山女子大学ナチュラル ライフスタイル部 代表 (百瀬 愛利)	297,021
福島県知事 環境共生課	福島県事業者向け省エネ対策推進事業 「創学館各室天井照明 LED 化（3 年目）」	郡山開成学園環境委員会 委員長 (緑川 洋一)	895,000

合 計（7 件）

4,461,511



地球は、わたしたち現世代の人間だけのものではなく、
わたしたちの子どもや孫の世代を含む未来のすべての世代
の生存に対して責任があるということを認識しましょう。

(世代間公平の考え方より)

